

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会
施設名	明石さくらんぼこども園
報告者（役職）	今岡 初枝（園長）
住所・連絡先	兵庫県明石市魚住町西岡1643
	☎ 078-920-8880
	E-mail kodomoen@kensikyo.sakura.ne.jp

○タイトル（保育計画）

みんなが一緒になって育てる水耕栽培植物園

○主な助成備品

水耕栽培ユニット

1. 保育計画の策定の目的

当園は2022年4月1日に開園しました。開園当初は園内で子どもたちが自然に触れる機会が少ない状態でした。そこで乳幼児期の大切な時期に身近に様々な自然を感じられる保育を行いたいと考え、園庭を活用し、「先生や友達と一緒に育てる楽しさ」、「植物の成長の観察」、「収穫する喜びを感じる」という食育活動の一貫を目的としました。また、植物の栽培というと土と水で育てることを想像しますが、水と液体肥料のみを使う水耕栽培という普段はあまり見られない方法で育てることで、さらに興味や関心を深めてほしいという思いから保育計画を策定しました。



2, 具体的な実施内容

- ・ 3月にいちごの苗を植える→4月から収穫し、子どもたちと食べる
- ・ 5月に夏野菜（キュウリ、オクラ、ピーマン、ナス、ミニトマト、メロン、スイカ）を植える→6月から収穫し、そのまま食べたりクッキング（餃子の皮ピザ）をしたりする

いちごの苗植え

- ・ 苗の土を洗い落とし、ポットにセットする。



「土がなくても大丈夫なの?」、「本当にいちごができるの?」と不思議そうに見つめる姿が見られた。

☆いちごができたよ!

4月頃~



あまーい!!



夏野菜の苗植え

・夏野菜（キュウリ、オクラ、ピーマン、ナス、ミニトマト、メロン、スイカ）の苗をポットにセットする。



・それぞれの苗の葉の形、葉触り、根の様子などに興味を持つ姿や野菜ができることに期待を膨らませる姿が見られた。

・ミツバチや蝶が花の蜜を求めてやってくるが、野鳥に食べられないよう網を全体に被せた。毎日網を開閉して一緒に観察した。

・トマトやスイカのつるが伸びてきたらその都度紐で止めた。



☆野菜ができたよ！



・保護者の方々にも栽培の様子が分かるよう
収穫した野菜を玄関に展示した。



クッキング

・収穫した野菜を用いて餃子の皮ピザを作った。



完成！！



おいしいね♡



・自分でトマトソースを塗ったり、野菜を盛り付けたりすることを楽しんでいました。普段苦手な野菜があり、あまり食べない子も「美味しい！」と言いながら嬉しそうに食べる姿がよく見られた。

3, その成果と評価

栽培活動を通して、子どもたちは身近に自然を感じ、様々な食材に興味を持つことができました。始めはあまり興味を持たなかった子どもも野菜や果物の成長が分ると「今日は野菜できているかな?」、「早く食べたいね!」などと言いながら自ら観察するようになり、子どもたちの成長も感じられました。また、野菜嫌いの子どもも、頑張って食べてみようとして積極的に挑戦する姿も見られるようになりました。野菜や果物の苗に興味を持つ様子、成長に期待を持つ様子、収穫できて友達と一緒に喜ぶ様子など、子どもたちの様々な表情を感じ取ることができ、嬉しく思います。



4, 今後の課題と展望

水耕栽培を通して子どもたちも職員も様々なことを経験することができました。今後も季節に応じた野菜や果物をたくさん育てていく予定です。また、栽培活動を活かした異年齢との交流や収穫したのものを使った遊びなど他の保育にも繋げていきたいと思ひます。

新設した当園の保育の充実にお力添えいただき、ありがとうございました。

以上

